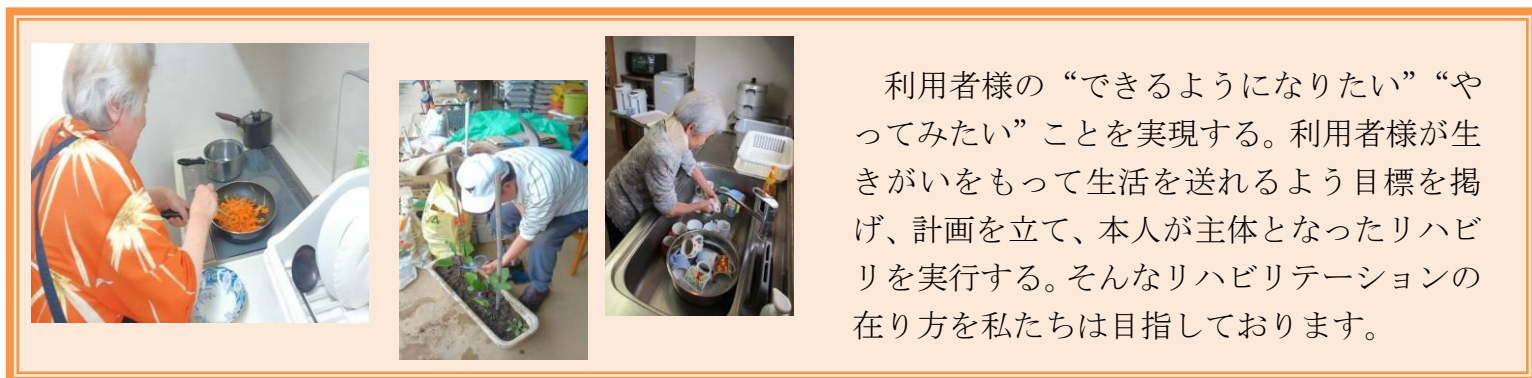




利用者様の“できるようになりたい”“やってみたい”ことを実現する。利用者様が生きがいをもって生活を送れるよう目標を掲げ、計画を立て、本人が主体となったリハビリを実行する。そんなリハビリテーションの在り方を私たちは目指しております。

■ 夏祭り開催のお知らせ

今年も恒例の夏祭りを開催致します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時：7月28日（土）
場所：2階全域及び中庭
内容：「盆踊り」13:00～13:45
「模擬店」13:50～16:00

■ 7月の趣味の教室

- 書道教室【大倉 佳子先生】
7月 2日（月）
7月23日（月）
2階 13時30分～
- 折紙教室【田中 三枝子先生】
7月 4日（水）
2階 13時30分～
- 詩吟教室【佐藤 譲先生】
7月18日（水）
2階 13時30分～
- 編物教室【梶谷 和子先生】
7月 5日（木）
7月26日（木）
2階 13時30分～

■ 7月の行事予定

7月5日（木）
「アンサンブル・マミーズ」様によるフルート・ヴァイオリン・ピアノの演奏
3階 デイルーム 10時40分～

7月9日（月）
「嵐山オカリーナ」様によるオカリナ・フルートの演奏
2階 機能訓練室 13時30分～

■ 7月の定例催し物

- 音楽会 【宮岡 久美子様】
7月11日（水）10時40分～ 3階
- 朗読 【関根 洋子様】【高橋 政子様】
【小川 かづ江様】【あすなろ様】
7月 5日（木）15時30分～ 2階
7月11日（水）15時30分～ 2階
7月12日（木）13時30分～ 2階
7月13日（金）10時40分～ 2階
7月19日（木）15時30分～ 3階
7月25日（水）15時30分～ 2階

■ 利用者様の作品が優秀作品に選ばれました

利用者様が編んだ果物の作品をCUP様の「あたたかいご 第16回ギャラリープロジェクト」に応募した結果、なんと優秀作品に選ばれました。松田様おめでとうございます。



■利用者名
松田とき子様

■作品名
編みぐるみフルーツ
バスケット

編集後記

暑い日が続きますね。熱中症には十分お気を付け下さい。

編集責任者 金子 弘幸



介護老人保健施設いづみケアセンター



〒355-0807 埼玉県比企郡滑川町和泉 873
TEL0493-56-6123 FAX0493-56-6124

いづみのホームページ <http://www.kokoro.or.jp/izumi-care/>

巻頭言

「高齢者医療は誰の為なのか」



生活ケア部長 石川ゆき子

いづみケアセンターは平成9年11月に開設致しました。私は開設の翌年から勤務させて頂き早20年目を迎えました。こうして20年間ここで仕事を続けられたのは、当施設を利用してくださっている利用者様、家族様のお陰であると心から感謝申し上げます。病院での治療を終えていづみケアセンターをご利用頂き、入所生活が始まると安静を強いられた環境から活動する生活に移行して行きます。次第に表情が豊かになり、食事が増えて元気を取り戻された時は本当に嬉しく思います。利用者様の笑顔に触れる度にこの仕事の遣り甲斐を感じてきました。自分の両親や人生の先輩方々から「人生の最終章をどう生きるか」と言う事を学び、公私ともに成長させて頂いた20年間となりました。

10年前に私は一緒に暮らしていた義父の終末期に携いました。当時、義父は認知症を患っていましたが、介護サービスを利用しながら在宅生活を維持していました。ある日、突然倒れて救急搬送となり入院を余儀無くされ、それからの義父の生活は今迄と一変してベッド上の生活を強いられます。当初は治療が進めば元の生活に戻れると信じておりましたが、それは穏やかな生活とは程遠いものでした。言葉が不適切かもしれませんが、義父にとっては入院治療が拷問の様な日々だったと思っています。点滴を抜いたりオムツを外したりという理由で両手は拘束されて自由に動く事は出来ません。身体が痒くても自分で掻くことも出来ないのです。数週間が経過しても病状が回復する事は無く気力も食欲も日に日に失せていきました。私は、同居の嫁として人生の最期を家族と一緒に過ごす事を選択しました。しかし、遠くに住む娘は「点滴を抜けば死んでしまう。どんな姿でも生きていて欲しい」と言います。其々の立場で家族を大切に思う感情なので何が正しいとは言えません。しかし、「家に帰りたい」と言っていた義父の最期の居場所が病院のベッドだったことに今でも悔いが残っています。これから益々高齢社会になっていきます。「高齢者の入院治療の弊害」と「人生を最期までどう生きるか」を利用者様、家族様と共に考えて解決策を模索して行きたいと思っています。今後ともご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

施設の行事

家族交流会



毎年恒例の家族交流会を6月17日（日）に開催しました。今年は16家族21名と多くの方にご参加頂きました。内容は内田施設長による4月に改定された介護報酬の話や赤塚医師による当施設の医療について話がありました。ご参加頂き有難うございました。

梅の収穫&梅ジュース作り



当施設には1番館と2番館の間に梅の木があります。毎年この時期に梅の収穫を行い、その梅でジュースを作っています。今年は豊作で20kg近くの梅が採れた為、沢山の梅ジュースを作る事が出来ました。

花巾着作り



手芸教室の中で「花巾着」を作りました。生地は不要になった着物を再利用しました。当施設には手動のミシンがあり、(写真左)利用者様は「昔よく使ったわ」と懐かしい話も弾み、楽しく作る事が出来ました。

「花みずき」の皆様による劇の披露



6月11日（月）に「花みずき」の皆様により劇を披露頂きました。舞台の小道具を前に“今日は何が始まるんだろう…”“刀があるからチャンバラかな…”“茶店もあるから時代劇じゃない…”と、皆様想像を膨らませワクワクと始まりを楽しみにしていました。第一部「水戸黄門お芝居」第二部はマジックや歌謡舞踊等のバラエティーショーと、盛り沢山のプログラムに花が咲きました。

お花見



6月13日（水）に「ときがわ花菖蒲園」に行きました。「菖蒲には1年もの、2年ものがあった、どの花もきれいだったよ」と嬉しそうに利用者様が話されていました。当日は天候にも恵まれ、素敵なお花見が出来ました。

リニューアルした中庭の現在

今年2月に中庭をリニューアルし、約半年が経ちました。現在はいづみ無農薬野菜の栽培をはじめ、お花やハーブを植え、芝生も緑に生い茂っています。利用者様は畑の様子を見に行ったり、時には歩行練習など利用者様の憩いの場となっております。

サークルストーンエリア



中央には河津桜を植えました。2月の時と比べると大きくなりました。リハビリの場所としても活用しています。

みかんと柿の樹を植えました。花が咲きましたが、実がなるにはもう少し時間が掛かりそうです。これからが楽しみです。



実のなる樹エリア



畑エリア



もみの木

きゅうり、トマト、茄子、さつまいも、じゃがいも、スイカ等、様々な野菜を栽培しています。丹精込めた野菜の味は別格です。

通所課「うちわ作り」



通所課では暑い夏を乗り切る為に、「うちわ作り」を行いました。半紙を折り、好きな色を染み込ませて模様を作りました。どれも一つ一つ味があり、色とりどりで見た目も涼しげなうちわが出来上がりました。

当施設職員が優秀賞を受賞しました！！



平成30年2月24日（土）に「第23回埼玉県介護老人保健施設大会」が開催され、理学療法士の戸坂心さんが発表した演題が、見事優秀賞を受賞しました。左の写真は埼玉県介護老人保健施設協会の小川郁男会長からの表彰状授与の様子です。戸坂さん、おめでとうございます。

■演題名

腰痛対策を端緒としたスタッフを護る取り組み
～セラピストが仲間の為にできること～